岡山商科大学孔子学院で"中国語教育研究会及び孔子学院の日"が無事開催

2021年11月27日、岡山商科大学孔子学院で「中国語研究会及び孔子学院の日」のイベントを開催した。コロナ禍ではあるが、中国語教育研究会への事前申請者は16名に達し、当日参加者が3名で、20名近くとなり、多くの方に参加していただいた。また、参加者の中には、14年前の岡山商科大学孔子学院設立当初の第1期の中国語講座受講生もいる。

安井事務局長がイベントの司会を務めた。黎学院長が開催の挨拶をした後、イベントの第 1部である「中国語教育研究会」に入った。講座が始まる前に、孔子学院の韓雲冬副学院長 により今回の中国語教育研究会の講師である岡山商科大学経営学教授・岡山商科大学孔子 学院院長黎暁妮について簡単に紹介した。



黎暁妮教授は「観光サインにおける中国語の誤訳について」というテーマで、収集した事例に基づいて、日本の中国観光サインの問題点を「語彙、文法、状況」に応じた言葉遣いの3つの側面から、日本人の間違えやすい中国語の特徴について詳しく検討された。参加者から講座の内容が非常に興味深く、とてもいい勉強になったという感想をいただいた。







イベントの第2部はミニ中国語講座で、王曼柳臨時講師が初級中国語講座を担当した。また、李東輝副学院長が中級中国語講座を担当した。





イベントの第3部は、中国語文化体験である。中国語文化体験では中国切り紙体験コーナー(担当者:王曼柳臨時講師)、2022北京冬季五輪開催へのメッセージカード作り(担当者:韓雲冬副学院長)と中国語映画(山の郵便配達)(担当者:李東輝副学院長)からなっている。参加者はみなさんが興味津々で思い思いの作品を完成した。











最後に李東輝副院長が閉会の挨拶をした。参加者の皆さんに感謝の意を表し、12月に「文化サロン」と来年1月以降には「中国お正月のイベント」などがあり、参加者の皆さんに引き続き孔子学院へのご支援いただきたい旨の思いを述べた。

アンケートには「中国語の誤訳について大変勉強になりました」、「充実した授業の内容でした」「よく計画されていて、充実した半日となりました、映画もよかったです」、「どの部も、すべてよかったです。ありがとうございました。時間が短くて残念なくらいでした」など貴重なご意見をいただいた。

岡山商科大学孔子学院副院長 李東輝 2021年11月29日